

I 平成 26 年度 蒲郡市青少年健全育成推進事業

1 地域ふれあい活動の変遷

蒲郡市は、昭和 41 年 5 月に「青少年を守る都市宣言」を行って以来、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和 56・57 年度に当時の文部省および愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことから、各中学校区に青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導で P T A を中心に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その輪は徐々に、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

昭和から平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成 7 年ごろからは、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加は増加したが、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えてきている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描くとともに、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会ともなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。毎年行われる「地域ふれあい活動」が、多くの参加者のもと充実した活動がなされるようそれぞれの地区で工夫されている。この活動を通して、地域の絆が一層強まっていくことが期待される。

2 市内の青少年の現状

蒲郡警察署生活安全課少年係によれば、市内の青少年の刑法犯は、ここ数年減少しているが、不良行為で補導される青少年は、増加しているとのこと。その不良行為内訳の 95% は喫煙と深夜はいかいである。増加の原因は、補導體制を強化し、犯罪の一手手前で食い止めようとパトロールを行っている結果でもあるとの話であるが、決して安閑としていられない状況にあるといっても過言ではない。

小中学生の問題行動においては、市内全体としては大変落ち着いた状況であるが、やはり個々に見ていくと家庭や本人に問題を抱え、安定した生活を送ることのできない子どもたちもいる。とりわけ不登校については、やや増加傾向にあり、平成 25 年度調査では、病気以外の年間 30 日以上欠席者は中学校で 82 名、小学校で 29 名であった。これは、県や全国平均をも上回る数である。

一方、スマートフォンや携帯電話をはじめとする情報機器の発達は、利便性は高めたものの、青少年のコミュニケーション能力の低下をもたらし、円満な人間関係の樹立に影を投げかけている。また、毎日長時間のインターネット利用によって「ネット依存」に陥り、身近な同年代や家族との会話を極端に減らしている青少年もいる。ネット上での誹謗中傷など友達関係のトラブルも増加している。

Ⅱ 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動一覧

1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月18日(金)	大塚公民館	19
	5月20日(火)	大塚公民館	62
	2月13日(金)(予定)	大塚公民館	21
2 三谷	5月10日(土)	三谷公民館	60
	6月1日(日)	三谷中学校	160
3 蒲郡	4月16日(水)	蒲郡中学校	22
	6月3日(火)	蒲郡中学校	105
4 中部	5月12日(月)	中部中学校	64
	11月17日(月)	中部中学校	34
5 塩津	5月10日(土)	塩津中学校	96
	10月21日(火)	塩津小学校	72
6 形原	4月19日(土)	形原中学校	23
	5月18日(日)	形原中学校	158
	1月17日(土)	形原中学校	60
7 西浦	4月30日(火)	西浦中学校	30
	5月22日(木)	西浦公民館	60

2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	3	2,250	6月14日～8月16日
2 三谷	3	1,680	9月7日～11月30日
3 蒲郡	7	4,490	5月18日～10月19日
4 中部	5	820	5月24日～9月7日
5 塩津	9	1,380	5月11日～9月28日
6 形原	11	2,100	6月22日～11月1日
7 西浦	1	188	8月24日
計	39	12,908	